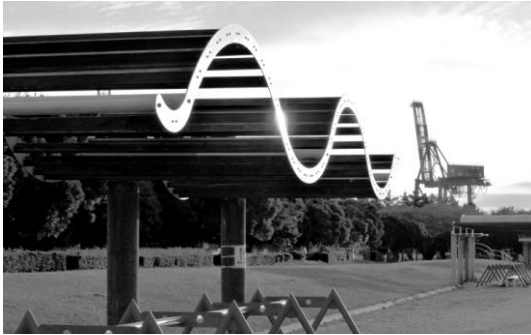


# 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース

# 第10回執行委員会③

10月28日（金）11時40分～ かめや



## 次から次への異常事態？！

### 大丈夫なのかなぁ？！この会社！

今号と次号掲載記事

は、執行委員会の議題に予定していたものの、時間の都合？で取り上げることが出来なかったのですが、この間ずっと気になっていたことと、職場内の声を集め、

#### 魅力のない会社？

皆さんもご存知の通り、この1年間で当区では若い社員の自主退職が相次いでいます。

つい最近では、(他の理由もあるかもしれませんが)

が) 夫婦で乗務員をしていた女性車掌(他労組合員)が、子供の養育の関係で、勤務調整が難しくその煩わしさから辞めてしまいました。会社側は多分、こういった相談を受けていたはずで、何とかならなかったのか残念でなりません。

各家庭で事情は異なる

かと思いますが、同じ境遇の夫婦乗務員は多くいます。育休から復帰した女性乗務員からは、時短行路(日勤)期間の延長を求める声も多く聞いています。

他には希望を持って入社したものの、一所懸命やっても認めてもらえず、何処に向かっているのか全然分からなくなってしまうたこの会社に見切りをつけたというのが、圧倒的に多いです。確かに独身のやる気満々の若い社員は、他

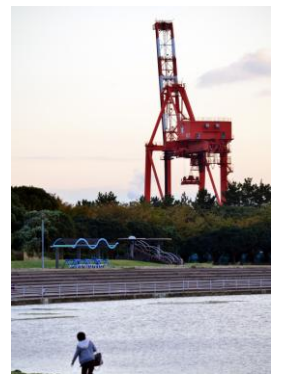
に自分の活路を見出すのも無理はありません。本来業務の鉄道部門を堂々と切り離す発表をしているような会社では、自分たちの年代でも心配になってしまいます。

#### 新人車掌に関して

今年の第一陣の新人車掌で、見習い期間を延長しても、不満足でなれなかったという事象がありました。本人には気の毒ですが、自分も車掌歴41年で初めての出来事で驚きました。

第二陣がなく、第三陣がもうすぐ当区に配属されますが、聞いたところによると9名来る予定の内、3名が何と会社を辞めてしまったというこれまた異常事態が起こっています。

更に残った6名の内



の一人(他にもいるかも...)は本人希望でなく、現場長が勝手に申し込んでしまった事例もあります。この最後の事例に関しては、この間の本人希望を無視した強制配転も含めて、権力の横暴が未だにまかり通っているという事実を憤りを感じます。

二番目の事例はやはり「こんな会社じゃダメだ」と見切りをつけたものだと思いますが、それも含めて全体、あるいは個々の採用基準のようなものが、どうだったのかという疑問を覚えられます。以前の試験のやり方を復活させた方が良いのではという声も職場内で多く聞かれました。

## 若者たちよ、本音で語れ！

内

☆ 個々の悩みも孤立させることなく、全体で共有出来る職場風土作りが必要ではないでしょうか？社長さん！